



論点整理

第三章 多様な子供たちを包摂する、柔軟な教育課程の在り方 ⑥

日本語指導が必要な児童・生徒の教育課程

表面的な日本語指導を脱却する「資質・能力の育成のための新たな日本語指導」(仮称)を再定義し、特別の教育課程に位置付け、質の向上を図る方向で検討すべき

① 日本語と母語の力を活用した『知識及び技能』と『思考力、判断力、表現力等』の一体的な育成が特別の教育課程の目的であることを明確化するため、学校教育法施行規則等の規定を改正する方向で検討すべき

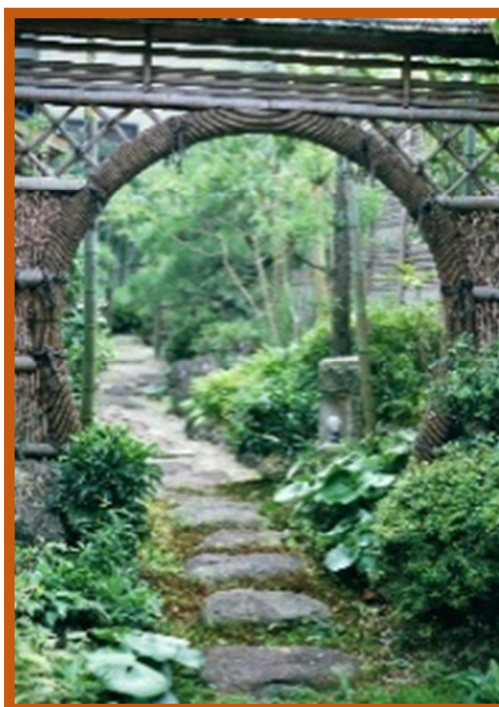
② 「資質・能力の育成のための新たな日本語指導」(仮称)を体系的・専門的に実施できるよう、考え方や指導内容・方法等を含め国が全体像を示す方向で検討すべき

③ 加えて、

(1) 学校では対応困難な母語の力を引き出すこと

を含め、会話・翻訳・読み上げ・ルビ振り等での生成 AI 等のデジタル技術の活用、

(2) 日本語指導が必要のない児童生徒への応用も含めた、教科学習での学習語彙の活用、について、具体的推進方策を検討すべき



自分に直言してくれる友人を大切に

えきしゃさんゆう そんしゃさんゆう
益者三友、損者三友。

ちよく とも りよう とも たぶん とも えき
直を友とし、諒を友とし、多聞を友とするは益なり。

べんべき とも ぜんじゆう とも べんねい とも そん
便辟を友とし、善柔を友とし、便佞を友とするは損なり。

(訳) よき友には三種類ある。損をする友に三種類ある。直言してくれて隠し事をしない友、誠実で裏表のない友、博学の友、この三者は有益な友である。体裁ばかりを気にして率直でない友、表面だけをよくして誠実ではない友、口先だけの友、この三者は損になる友である。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）